令和2年度石油・ガス供給等に係る保安対策調査等事業 (石油精製プラント等の事故調査)

高圧ガス事故を題材とした視聴覚資料の整備 補足説明資料

高圧ガス事故を題材とした悦聡見貝科の登伽 補足説明貝科	
タイトル	バルブ閉め忘れによる毒性ガス漏えいの事故に学ぶ
映像時間	11 分 59 秒
資料の概要	2008 年に発生した高圧ガスの漏えい事故を題材とした視聴覚資料。 資料の構成は、次のとおり。 1. 事故の報道、事故の概要 2. 事故の詳細(時系列を含む。) 3. 事故原因と事業所の再発防止対策 4. 事故の教訓 5. まとめ
事故の概要	【事故発生日時、場所】2008 年 5 月 8 日 (木) 19 時 8 分 千葉県市原市 【事故発生時の気象状況】天候:曇り、気温:16.9℃、湿度:41.0%、風向:東、風速:1.4m/s 【施 設 名 称 、 機 器】ポリカーボネート製造装置 除害塔、ベントスタック 【高圧ガスの種類 (名称) 】毒性ガス (塩素) 【常用圧力、常用温度】0.75MPa、13℃ 【被 害 状 況】軽傷 15 名 【事 故 の 概 要】 ポリカーボネート製造装置のスタートアップ作業において、バルブ操作を誤り、除害塔へ大量の塩素ガスが流入し、ベントスタックから塩素ガスが漏えい拡散した。 推定漏えい量は、およそ 400kg(126 ㎡(標準状態))。
塩素ガスの 性 質 な ど	 高圧ガス保安法では、毒性ガスに分類されている。 空気より重く、激しい刺激臭のある黄緑色のガスである。 酸化力が強いので、可燃性物質に対して支燃性を示す。 沸点が-34.1℃、臨界温度は 144℃で、圧縮により容易に液化する。 毒性が極めて強く、吸入すると呼吸器が侵される。 空気中で 30ppm の塩素ガスを吸入すると激しくせき込み、40~60ppm では 30 分から 1 時間で生命に危険となり、900ppm では短時間で死に至るといわれる。 許容濃度(2019 年度の ACGIH の勧告値)は、次のとおり。 長期暴露限界値(TLV-TWA) 0.1ppm 短時間暴露限界値(TLV-STEL) 0.4ppm
運転の職制	【係 長】全体統括 【直 長】運転統括 【直 員 ボード マン】直長指揮下の運転対応 【直員フィールドマン】直長指揮下の運転対応 【運 転 管 理 担 当 者】工程管理、直長のサポート 【運 転 支 援 者】直長指揮下の運転対応 【日 勤 者】直長指揮下の運転対応

【通 常 時】 3 交替/4 直の運転体制。 【事 故 発 生 時】 2 交替/3 直の運転体制。 交替勤務から外れた1直メンバー(日勤者)は、運転支援者として、通常 時とは別の直長指揮下に入って業務を遂行。 課長 係長 運転体制 直 19名 日勤者 A直 C直 B直 直長 直長 直長 運転管理担当者 運転支援者A 直員5名 直員6名 直員5名 運転支援者B 事故時の関係直及び関係者 運転支援者C 図 事故発生時の運転体制(2交替/3直の運転体制) 【ポリカーボネート】 耐熱性、耐衝撃性、透明性などに優れた熱可塑性樹脂である。その多くは、 ホスゲンとビフェノール A との重縮合により製造されている。ホスゲンは 塩素と一酸化炭素から製造される。 【除 害 塔】 毒性ガスが漏えいしたとき、その毒性ガスを人畜および植物に被害を及 ぼさないように処理するための設備のうち、塔形状をしたものをいう。 【ベントスタック】 大気中に直接ガスを放出する設備で、次の2種類がある。 ① 緊急時に移送したガスを放出するための緊急設備にかかわるもの。 用語解説 ② その他 【運 転 要 領 書】 バルブ開閉状態等の記載のある現場作業の手順書。 D] Piping and Instrumentation Diagram の略称。配管計装図ともいう。 [D Distributed Control System の略称。分散制御システムともいう。 【ラインアップ】 流体を流す前に対象となる系にある各バルブの状態 (開閉)が正しい状態 になっているか確認する作業。 高圧ガス事故概要報告 参考資料 https://www.khk.or.jp/Portals/0/resources/activities/incident investigation/ hpg_incident/pdf/2008-300.pdf